

2021年6月～2022年3月

第48期包装学校募集要項

- 包装機械設計技術専門課程
- パッケージングエンジニア専門課程
- マイクロコンピュータ制御技術専門課程
 - PLCメカトロ制御講座



一般社団法人 日本包装機械工業会

■ 包装学校第48期生募集のご案内

日本包装機械工業会では、教育事業の一環として昭和49年に“包装学校”を開講し、以来47期4,955名にわたる包装スペシャリストを世に送り出し、少なからず、企業のため、業界のため貢献してまいりました。

本学校は、設計技術、パッケージングエンジニア技術、オペレータ技術、包装機械と包装資材との適正化技術、経営管理技術等の総合教育を目標としていますが、当初は、本格的な国際化時代に対応するための技術の向上を目的とし、生産の心臓部である設計課程を開講し、第2期生まで教育を行ってまいりました。

しかし、オイルショック後、日本経済が低成長時代に入り、各企業とも単なるセールスマンからセールスエンジニアの育成の必要性が高まり、当包装学校では新たにセールスエンジニアリング技術課程を設けましたが、セールスエンジニアの育成のみならず、ユーザの皆様にも受講し易く包装に関する総合的専門知識の修得を図れるよう名称を昭和58年よりパッケージング専門課程と変更し、さらに第28期から、設計技術専門課程に実習講座を組み入れ、より一層の内容の充実を図っております。

講座修了者には修了証書を授与し、さらに資格認定試験合格者には、包装機械設計士・相談士の称号を授与いたしております。

また、近年包装機械のコンピュータ化が進み、その内容も高度になってきています。そこで、昭和63年よりコンピュータによる機械の制御を設計する人材の育成機関として、マイクロコンピュータ制御技術専門課程を設けました。

過去47期生までの修了者の活動状況をみると、いずれも社内の模範社員として信頼を得て、第一線で活躍し、多大な成果を収めています。

本年も第48期包装学校を6月に開講いたしますが、各企業の社員養成の一環としてご参加くださるようご案内申し上げます。

一般社団法人 日本包装機械工業会
包装学校長 大 森 利 夫

■ 講座の特色

包装学校は企業の総合的管理技術の向上を目的として昭和49年に設立されました。昨年までに4,955名の包装スペシャリストを世に送り出し、関係各方面から高い評価を得ています。

昭和51年から従来の包装機械設計技術専門課程と別に新設したセールスエンジニアリング技術課程を昭和58年からは、パッケージングエンジニアリング専門課程と名称を変更し、両課程とも講義内容をより一層充実させております。

昭和63年からは、コンピュータソフト開発・プログラム設計者のためのマイクロコンピュータ制御技術専門課程を新設し、業界のレベルアップを図ります。

その後も、メカトロ技術に関する講義や国際化に関する講座を新設しており、第47期からは、IoT・5G、AI・ビッグデータ等のIT技術に関するデジタル技術知識の講義を共通講座に新設するなど、常に時代の流れに合わせたカリキュラムにしております。

また、先期より座学講座をオンデマンドビデオ配信システムへ移行し、受講生は講義を職場や自宅など場所を選ばず、自由な時間に繰り返し、柔軟に受講できるようになりました。

座学以外の開校式・オリエンテーションやグループディスカッション、設計講座・マイコン講座の実習講座などの従来のリアルな対面講座とのハイブリッド型カリキュラムとしております。

■ 包装機械設計技術専門課程

目的と認識・対象の把握・対象改善の働きかけ・基礎実験・設計仕様の設定・構想と想像性、これらの設計手順をカリキュラムとした教育体系となっており、設計技術の仕事に2年以上携わった方々を対象としております。

第28期からは、電子回路編・機械編として実習講座を組み入れ、さらに実践的になっております。

■ パッケージングエンジニアリング専門課程

第9期まではセールスエンジニアリング技術課程と称し、セールスエンジニアの育成を目的としてまいりましたが、第10期からパッケージングエンジニアリング専門課程とし包装に関する総合的専門知識を修得できるように組み立てられたカリキュラムとなっており、本格的な包装人の育成を目的としております。

■ マイクロコンピュータ制御技術専門課程

包装機械のコンピュータ化が近年急速に進み、その内容も高度なものになっているなか、ソフトの開発・プログラム設計する人材の育成機関として昭和63年から本課程を取り込み、少数精鋭の集中講義により、業界のレベルアップを図ることを目的としております。

■ 募 集 要 項 ■ 包装機械設計技術専門課程 ■ パッケージングエンジニア専門課程

■ 受 講 資 格 高校卒業以上の基礎学力を有し、且つ、関連業務に実務経験を有するもの。
(原則として所属長の推薦を必要とします。)

■ 定 員 ●包装機械設計技術専門課程 50名
●パッケージングエンジニア専門課程 50名
●東京会場 50名 大阪会場 50名

■ 受 講 期 間 2021年7月～2022年3月

■ 受 講 料 ●包装機械設計技術専門課程 ●会 員 340,000円 (税別)
(全期間通し) ●非会員 390,000円 (税別)
●パッケージング エンジニア専門課程 ●会 員 320,000円 (税別)
●非会員 370,000円 (税別)
(テキスト、資料費、集合教育昼食費等を含む)

■ 申 込 み 2021年4月1日～5月14日
受 付 期 間 申込順に受付け、定員になり次第申込を締切らせていただきます。

■ 申 込 み 方 法 所定の入学願書に必要事項記入の上、下記事務局宛お申し込みください。
一般社団法人 日本包装機械工業会・包装学校事務局
●東京都中央区新川2-5-6包装機械会館 〒104-0033
TEL.03-6222-2279 FAX.03-6222-2280
受講料の振込は、下記の銀行口座をご利用ください。
取扱銀行：三 菱 U F J 銀 行 八重洲通支店 (普通預金1955300)
口 座 名： 一般社団法人 日本包装機械工業会
口座名義 シヤ)ニホンハウソウキカイコウギョウカイ
恐れ入りますが、振込手数料は貴社にてご負担願います。
但し、いったん振込まれた受講料は、原則としてお返し致しません。

■ 修 了 次の両項の条件を充たす履修者には、修了証を授与いたします。
●講義の所定日数に出席したもの。
●試験答案を提出し、規定点以上の成績を取得したもの。

■ 称 号 授 与 ●各課程の修了者で、成績優秀な者を認定試験により、それぞれ「包装機械設計士」・「包装機械相談士」として認定し、認定証を授与いたします。

■ 修了者の特典 ●授与された称号は、名刺等印刷物に使用できます。
●包装機械情報メール「P&M 通信」その他関係資料が送付されます。
●その他、工業会主催の講演会に優待招待されます。

第48期包装学校

◎包装機械設計技術・パッケージングエンジニア共通講座
(2021年6月～2022年3月)

No.	東京会場	大阪会場	テ ー マ	講 師	時間
1	6月18日 (金) 10:00～17:00 会場は、 包装機械会館2階	6月25日 (金) 10:00～17:00 会場は、 大阪商工会議所	開 講 式	包装学校長 企画運営委員	6
			オリエンテーション (グループワーク)	企画運営委員	

No.	オンデマンド講座	テ ー マ	講 師	時間
2	オンデマンド配信期間 7月19日 (月)～8月16日 (月)	包装産業事情と包装人	大森 利夫 氏 (一社)日本包装機械工業会 会 長 大森機械工業(株) 代表取締役社長	3
		包装機械の特徴と活用	一岡 幹朗 氏 大森機械工業(株) 取締役 管理本部長	3
		仕様書・取扱説明書の在り方	増田 康弘 氏 (株)東京自動機械製作所 設計開発部 先端技術研究課 技術・特許係 係 長	3
		包装自動化の進め方	牧野 研二 氏 ゼネラルパッカー(株) 代表取締役社長	3
3	オンデマンド配信期間 8月23日 (月)～9月13日 (月)	パッケージと包装材料の基礎	加藤 武男 氏 加藤包装技術事務所 所 長	3
		包装材料の知識 (1) プラスチックの加工と包装機械適正	加藤 武男 氏 加藤包装技術事務所 所 長	3
		包装材料の知識 (2) 段ボール	松田 泰明 氏 レンゴー(株) 包装技術部 東京包装技術第一課 担当課長	3
		包装材料の知識 (3) 紙器・板紙	小島 正人 氏 王子パッケージング(株) 生産本部 愛知事業所長	3
4	オンデマンド配信期間 9月20日 (月)～10月18日 (月)	包装機械と衛生	橋本 光冬 氏 元・森永製菓(株) 品質保証部 主席研究員	3
		食品メーカーの環境マネージメントシステム	石坂 隆 氏 元・森永製菓(株) コーポレートコミュニケーション部 環境戦略室	3
		ロボットの最新事情	三治 信一郎 氏 PwCコンサルティング合同会社 パートナー	3
		包装システムと検査装置	植山 英弘 氏 アンリツインフィビス(株) マーケティング部 販売促進課	3
5	オンデマンド配信期間 10月25日 (月)～11月8日 (月)	海外出荷に伴う国際規格	西村 宏之 氏 (株)SCREENクリエイティブコミュニケーションズ 営業部 マネージャー	3
		包装と印字	山口 礼司 氏 イーデーエム(株) 技術本部 開発部 ゼネラルマネージャ	3
		包装機械の先端技術	槌屋 治紀 氏 (株)システム技術研究所 所 長 工学博士	3
		デジタル技術の現状と今後 ーIoT、5G、AI、ビッグデータ等ー	岡部 忠 氏 (独)東京都立産業技術研究センター 開発本部プロジェクト事業推進部 IoT開発セクター 主任研究員	3
6	オンデマンド配信期間 11月15日 (月)～12月6日 (月)	安全工学	池田 博康 氏 (独)労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所 労働災害調査分析センター長	6
		包装機械と特許	橋本 虎之助 氏 橋本総合特許事務所 所 長 (弁理士)	6

No.	東京会場	大阪会場	テ ー マ	講 師	時間
7	11月26日 (金) 10:00～17:00 会場は、 包装機械会館2階	12月3日 (金) 10:00～17:00 会場は、 大阪商工会議所	グループディスカッション マーケティングの基礎知識	吉川 雅之 氏 元・産業能率大学 経営学部 教 授	6

No.	オンデマンド講座	テ ー マ	講 師	時間
8	オンデマンド配信期間 2月28日 (月) ～ 3月21日 (月)	食品を巡る包装の現状と将来展望	石谷 孝佑 氏 (一社)日本食品包装協会 理事長 農学博士	6

No.	東京会場	大阪会場	テ ー マ	講 師	時間
9	3月10日 (木) 10:00～17:00 会場は、 包装機械会館2階	3月17日 (木) 10:00～17:00 会場は、 大阪商工会議所	ディベートディスカッション	企画運営委員	6
			修了式	包装学校長 企画運営委員	

◎包装機械設計技術専門課程(2021年12月～2022年3月)

No.	オンデマンド講座	テ ー マ	講 師	時間
10	オンデマンド配信期間 12月20日 (月) ～ 1月17日 (月)	機構学の基礎、駆動システムの選び方	西田 麻美 氏 (株)プラチナリンク 代表取締役 工学博士	6
		設計と生産技術	山村 憲司 氏 (株)古川製作所 総務部 副部長	3
		ケーススタディ ー溶断シール装置と収縮包装ー	井上 敬一 氏 トキワ工業(株) 取締役 技術部長	3
11	オンデマンド配信期間 1月24日 (月) ～ 2月14日 (月)	初歩から学ぶ制御工学	西田 麻美 氏 (株)プラチナリンク 代表取締役 工学博士	6
		電子回路 (1) 電子回路の基礎知識	浅野 博 氏 関東職業能力開発大学校 生産情報システム技術科 教 授	6

No.	東京会場	大阪会場	テ ー マ	講 師	時間
12	1月13日 (木) 10:00～17:00 会場は、 高度ポリテクセンター	1月27日 (木) 10:00～17:00 会場は、 ポリテクセンター関西	実習講座 (電子回路編)	高度職業能力開発促進センター 関西職業能力開発促進センター	6
	1月14日 (金) 10:00～17:00 会場は、 高度ポリテクセンター	1月28日 (金) 10:00～17:00 会場は、 ポリテクセンター関西	実習講座 (機械編)	高度職業能力開発促進センター 関西職業能力開発促進センター	6

No.	オンデマンド講座	テ ー マ	講 師	時間
13	オンデマンド配信期間 2月7日 (月) ～ 3月6日 (月)	電子回路 (2) 制御の基礎知識	浅野 博 氏 関東職業能力開発大学校 生産情報システム技術科 教 授	6
		機械設計とデザイン	豊永 俊之 氏 豊永デザインオフィス 代 表	6



◎パッケージングエンジニア専門課程(2021年12月～2022年3月)

No.	オンデマンド講座	テ ー マ	講 師	時間
10	オンデマンド配信期間 12月27日(月)～1月24日(月)	ケーススタディ(1) ー横ピロー包装機の基礎知識ー	一岡 幹朗 氏 大森機械工業(株) 取締役 管理本部長	3
		ケーススタディ(2) ー縦ピロー包装機の基礎知識ー	窪井 宏行 氏 (株)川島製作所 生産技術センター 技術統括部 技術縦型ユニット 課長	3
		海外取引の常識	渡辺 広志 氏 (株)東京自動機械製作所 MG営業部 事業推進課 次長	3
		ケーススタディ(3) ー共同開発・その他の技術契約についてー	岡村 剛敏 氏 大和製衡(株) 取締役 管理本部長 兼 企画本部長	3
11	オンデマンド配信期間 2月14日(月)～3月6日(月)	食品包装設計	清水 啓介 氏 清水KSK技術士事務所 所長(包装専士)	3
		医薬品包装機械のバリデーション	中島 智 氏 CKD(株) 自動機械事業本部 PP事業統括部 技術部	3
		これから求められる医薬品包装機械 ユーザー・メーカーの立場から	岸川 尚 氏 カナエエンジニアリング(株) エンジニアリング部 チーフエンジニア 北垣 雄二 氏 カナエエンジニアリング(株) コーディング技術&バーコード検証機担当 課長	3
		マーケティング戦略と パッケージデザイン	久和野 英明 氏 大日本印刷(株) 包装事業部 イノベティブ・パッケージングセンター 企画本部 プランニング3部 部長	3



私は1年間の包装学校を受講して、視野が大きく広がったと感じています。

共通課程では包装機械に焦点を絞った経済の話やIoTなど世界の技術トレンドなどマクロな視点の講義から始まり、包材の構成や輸送などミクロな知識まで、講義内容とこれまでの経験とを摺合せながら視野を広げていく事ができました。

専門課程においてはメカ設計に関する講義の他に制御やソフトの講義もあり、機械設計の全体を見渡せる設計者へと姿勢を正すきっかけになりました。また、講義の端々で講師の方々の包装現場での経験談やこぼれ話を聞く機会があり、講師の皆様の包装人としての姿を垣間見ることができ、感慨深かったです。包装学校に参加されている包装に関連する多様な業種、職種の方と同じ環境で過ごすことは講義中の発言やワークショップでの会話から互いを理解し高め合う貴重な体験となりました。この1年の経験を活かし包装技術者として邁進していきたいと思えます。

最後にはなりますが、ご多忙の中ご教授頂いた講師の皆様、1年間陰ながら支えてくださった包装学校事務局の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

第45期包装学校
第45回包装機械設計技術
専門課程修了生

現在私は、製菓会社の包装部門に所属しております。

包装機械、包装材料等の知識を深める為、今回の包装学校を受講させていただきました。

講義では実際に現場で扱っている包装機械の基礎知識から包装工程によるトラブル、事故の危険性、そして包装材料では食に対する特性、必要性等、普段の業務では知り得ない内容も学ばさせていただきました。

また、包装業界の動向や安全工学、ユーザーとメーカーの関係など専門的な知識も得ることができました。

今後の業務では包装学校で得た知識を活用できる分野で活かし、弊社の指針でもある「お客様に安心と満足をお届けする」を遂行できるよう努めてまいります。

最後になりますが、ご多忙の中ご教授頂いた講師の皆様、お世話になりました包装学校事務局の皆様、受講の機会を与えてくださった会社、そして業務を支えてくださった皆様に感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

第45期包装学校
第43回パッケージングエンジニア
専門課程修了生

私は、包装学校を受講することで知識の幅を広げることができたと感じています。

講義では、包装機・包装材料の基礎知識、設計に関する専門課程の他、印字・検査装置・衛生管理・環境問題・事故の事例等、通常業務では詳しく知り得ない分野についても幅広く学ぶことができました。また、グループワークでは包装学校に参加されている他社の皆様と意見を交換し、グループ全員で一つの課題に向き合った事も貴重な経験となりました。

私は包装機メーカーにて上包機の設計に携わっています。普段業務を行っていると担当機種に関わる分野に知識が偏りがちになりますが、同じ包装業界でも他分野を知ること、またその分野で生きる方々にリアルな意見を伺えたことは、今後設計を行う上で得るものがたくさんあったと感じています。今後はこの一年間で得た知識・考え方を生かし、視野を広く持って、より良い設計が出来るよう努めたいと思えます。

最後になりますが、ご多忙の中ご教授頂いた講師の皆様、包装学校事務局の皆様に感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

第46期包装学校
第46回包装機械設計技術
専門課程修了生

現在、私は食品メーカーにて充填・パッキング部門で生産管理及び新規生産設備の導入に携わっております。

私の部署では、種々の包装機械に加え、容器、ラベル、段ボールなどの包装資材を使用しておりますが、その資材に由来するトラブルに直面することが多くあります。そうした際に、機械だけでなく資材に関する知識が十分でなければ、原因の推定や追及、改善は難しいと考えておりました。そのような課題意識があったことから、包装全般について学ぶことのできる包装学校を受講させていただきました。

講義の中では、包装業界全体の状況を通したマクロな講義から、各種包装機械や資材の専門知識、マーケティング、ロボットなど幅広いミクロな知識まで吸収することができました。どの講義も自分の業務とつながる部分があったため、今後うまく活用しながら視野広く業務遂行に役立てていきたいと思っております。

最後になりますが、ご教授いただいた講師の皆様、事務局の皆様、受講中の業務を支えてくださった会社皆様に感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

第46期包装学校
第44回パッケージングエンジニア
専門課程修了生

現在私は、充填機メーカーにて充填機の設計に携わっております。

充填機の設計ではお客様のご要望に応じて、充填機の仕様を変更する必要があるため、そのためには充填機の知識だけではなく、容器、蓋、オーバーキャップなどの包装資材についての知識も必要となります。今回の講義を通じて包装機、包装材料の基礎知識などを学ばせていただいただけでなく、食品メーカーの環境マネジメントシステム、海外出荷に伴う国際規格、デジタル技術の現状と今後(IoT,5G,ビッグデータなど)といった普段ではなかなか知り得ない分野についても知識を深めることができました。

また、オリエンテーションでのグループワークでは、与えられた課題について包装学校に参加されている他社の営業職、技術職の方々と意見交換をさせていただき、視野を広く持つことの重要性を改めて実感し、貴重な経験となりました。

最後になりますがコロナ渦中で大変な中、ご教授いただいた講師の皆様、事務局の皆様、受講の機会を与えてくださった会社皆様に感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

第47期包装学校
第47回包装機械設計技術
専門課程修了生

私は包装学校の講義を通して、自分の知識の幅を広げることができたと感じました。

また新型コロナウイルスの影響から、オンデマンドの授業で初めは不安なことがありましたが、自分のペースで資料を読み、考えることが出来ました。

講義の中では、包装機や資材関係、安全面や最近の技術についてなど自分の業務に直接関わる部分から実際の業務だけでは触れる機会がない部分まで幅広く学ぶことができました。どの講義も包装梱包ラインを検討する上で知識として必要なものばかりであったため、自分の業務に大きくつながることから、この学びを活かし業務に励みたいと思いました。また、去年までとは大きく変化した社会情勢から今後の包装機械分野についても考えるいい機会となりました。

最後になりますが、ご多忙の中並びに新型コロナウイルスの影響で急遽オンデマンド体制になったにもかかわらず、ご教示いただいた講師の皆様、包装学校事務局の皆様に感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

第47期包装学校
第45回パッケージングエンジニア
専門課程修了生

マイクロコンピュータ制御技術専門課程受講生(第34回) 募集のご案内

〈包装学校第48期生〉

近年、包装機械の制御にマイクロコンピュータを使用することは、もはや不可欠の技術となりました。このため、マイクロコンピュータ制御技術を駆使した包装機械の開発計画を進め、そのアフターフォローまでの業務を効率的に運ぶには、優秀なコンピュータ技術者の採用または企業内での育成が必要です。しかしながら現実には、技術者の確保は極めて難しく、設計からアフターフォローまで、かなりの部分を外部依存しているのが実状であります。

このため、昭和63年度より「マイクロコンピュータ制御技術専門課程」を設け、最新技術知識の取得レベルにとどまらず、マイクロコンピュータを応用した包装機械を設計することができ、サービス業務につくことができるコンピュータ技術者の育成を図ることにいたしました。

また、第34期より「PLC制御講座」を設け、より内容の充実を図っております。44期よりオペレーティング実習講座を1日追加し、「PLCメカトロ制御講座」に講座名を変更し、サーボモータ制御及びモーションコントロール技術をより深く修得いただけるようにしております。

本課程は、業界からの強い要望に応じて開設した講座です。講座内容は、ソフトウェアを中心に、コンピュータ言語の修得とデモ機を使用した実習に重点をおいております。

本年6月より第34回の開講となりますが、当講座の主旨をご理解の上、業界の明日を担う各社の技術水準向上のため、ご参加下さいますようお願い申し上げます。

一般社団法人 日本包装機械工業会
包装学校長 大 森 利 夫

- 包装機械にマイクロコンピュータ技術を導入するための実習教育です。
- 「PLCメカトロ制御講座」は、コンピュータ言語の修得とデモ機を使用した実習に重点をおいております。
- パーソナルコンピュータ(ノートブック型)を貸出し致します。(無料)
- 経験豊富な講師陣により、懇切丁寧な指導が受けられ、短期間で必要な知識を修得できます。

● 募集要項 ■ マイクロコンピュータ制御技術専門課程

● 受講資格 高校卒業以上の基礎学力を有し、原則としてキーボードを操作できること。

● 定員 ● PLCメカトロ制御講座……6名(8名)

● 受講料 会員 110,000円(税別)
● PLCメカトロ制御講座
非会員 160,000円(税別)
(テキスト、資料、昼食費、等を含む)

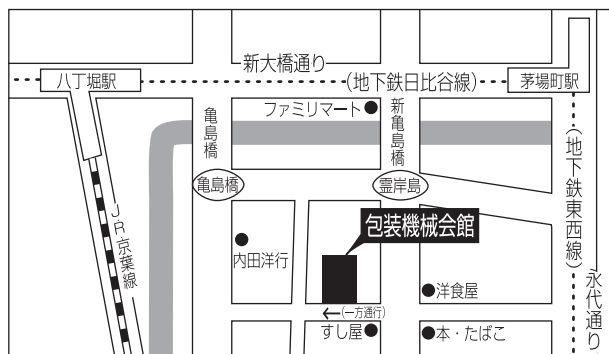
● 申込み受付期間 2021年4月1日～5月14日
申込順に受付け、定員になり次第申込を締切らせていただきます。

● 申込み方法 所定の入学願書に必要事項記入の上、下記事務局宛お申し込みください。
申込宛先：一般社団法人 日本包装機械工業会・包装学校事務局
東京都中央区新川2-5-6包装機械会館 〒104-0033
TEL.03-6222-2279 FAX.03-6222-2280
● 受講料の振込は、下記の銀行口座をご利用ください。
取扱銀行：三菱UFJ銀行 八重洲通支店(普通預金1955300)
口座名：一般社団法人 日本包装機械工業会
口座名義 シヤ)ニホンハウソウキカイコウギョウカイ
恐れ入りますが、振込手数料は貴社にてご負担願います。
但し、いったん振込まれた受講料は、原則としてお返し致しません。

● 修了 本課程修了者には、修了証を授与します。

● 修了者の特典 ● 包装機械情報メール「P&M 通信」その他関係資料が送付されます。
● その他、工業会主催の講演会に優待招待されます。

■ 会場



包装機械会館

東京都中央区新川2-5-6 〒104-0033

TEL 03-6222-2279

FAX 03-6222-2280

地下鉄日比谷線・茅場町駅・八丁堀駅より徒歩5分

地下鉄東西線・茅場町駅より徒歩5分

JR京葉線・八丁堀駅より徒歩5分

第48期包装学校 ●マイクロコンピュータ制御技術専門課程（2021年6月～）

●講義時間 10:00～17:00

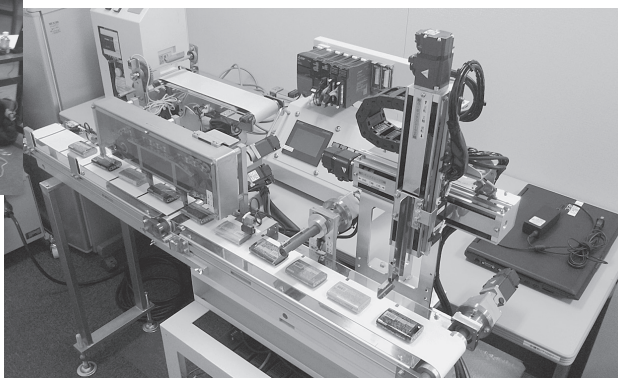
開講式・オリエンテーション

日 時	テ ー マ	講 師
6月18日（金） 10:00～17:00 会場は、 包装機械会館2階	開 講 式 オリエンテーション	包装学校長 企画運営委員

PLCメカトロ制御講座（包装機械のモーション制御）

（実際の包装機械に採用されている機械制御の言語とトレーニングデモ機を使用して、機械を制御するために必要な知識とプログラミングのテクニックを習得します。）

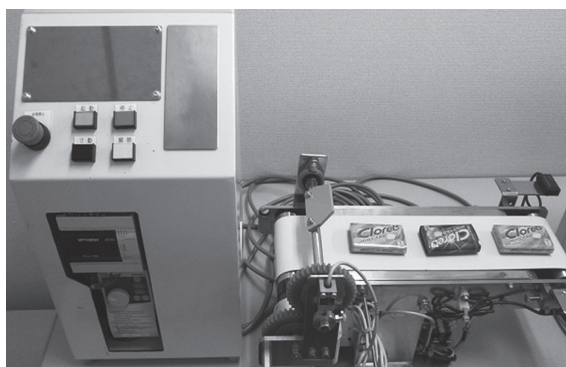
日 時	テ ー マ	講座のポイント（狙い）	講 師
11月16日（火）	PLC（シーケンサ）の基礎 ・ユニット構成特徴 ・ラダー言語 ・開発ツールの操作（簡単な回路を作成） モーションコントローラの特徴 ・マルチCPU構成の概念 ・システム設定、軸設定パラメータの設定、マルチCPU設定 ・モーションプログラム概要 ・モーションプログラムの作成方法 ・同期制御概念	ラダー言語プログラムを理解する プログラミングツール操作を習得する モーションコントローラシステム構成を理解する モーションプログラムを理解する モーションプログラム言語の作成方法を習得する 同期制御の意味を理解する	畑 野 眞 人 氏 （一社）日本包装機械工業会 技術部 部 長 幸 野 竜 介 氏 三菱電機(株) FAシステム事業本部 FAエンジニアリングサービスセンター FAソリューションエンジニアリング部
11月17日（水）	運転シーケンス（ラダー言語トレーニング） ・メカデモ機にて自動運転回路を作成 横形ピロー包装機の概要説明 ・メカ機とメカトロ機 トレーニングデモ機 ・デモ機仕様書説明 ・デモ機モーションシステム概要説明 ・機械原点復帰動作説明 ・初期位置移動量の方程式 （計算式作成トレーニング）	メカデモ機で運転シーケンス回路を作成する 運転回路の標準化の重要性を把握する 横形ピロー包装機を知る 仕様書の重要性を理解する デモ機のシステム構成を把握する 横形ピロー特有の原点復帰動作を理解する 横形ピロー特有の仕様を理解する	



日 時	テ ー マ	講座のポイント（狙い）	講 師
11月18日（木）	・初期位置移動量の算出（モーションプログラムトレーニング） ・デモ機モーションプログラムの説明		畑 野 眞 人 氏 （一社）日本包装機械工業会 技術部 部 長
	不等速データテーブル （カムデータ作成トレーニング） ・色々な動作を体験（縦ピロー、ケーサなど）	カムデータの動作を体感する	幸 野 竜 介 氏 三菱電機(株) FAシステム事業本部 FAエンジニアリングサービスセンター FAソリューションエンジニアリング部
	デモ機の制御システム、プログラム構成説明 ・タスクの説明	他機種への応用を創造する	
	タイミングカム、クラッチ、シフト機能の説明 応用実習兼修了認定試験の課題説明 （タイミングチャート作成、プログラム作成及びデバック）	デモ機の制御システムを理解する	
		タイミングチャートの重要性を把握する	
11月19日（金）	応用実習兼修了認定試験		
	レジマーク制御概要の説明	レジマーク制御の考え方を理解する	
	他社のモーションコントローラの紹介	他社コントローラとの相違点を知る	
	デモ機を使つての自由実習	モーション制御設計に自信を持つ	

修了式（講座の修了者が対象となります）

日 時	テ ー マ	講 師
2022年 3月9日（木） 15:30～17:00 包装機械会館2階	修了式（東京）	包装学校長 企画運営委員
2022年 3月16日（木） 15:30～17:00 大阪商工会議所	修了式（大阪）	



私は普段の業務では、包装機のオペレーターをしており生産業務がメインのため、設計や制御に携わっている他の受講生の方よりマイクロコンピュータに馴染みがありません。

今回、会社より知識を深めるチャンスを頂き、マイクロコンピュータ制御技術専門課程のVisual Basic、C言語、PLC制御の3講義を受講しました。

Visual Basicに触れるのは初めてでしたので大きな不安もありましたが、見やすいテキストと講師の方の丁寧な説明の後の実習で、少しずつですが理解しながら取り組みました。また、出来上がったプログラムを他の受講生の前で説明しながら実行する事で伝え方の勉強にもなりました。

C言語では、プログラムをマイコンキットを使用し動作を視認することで、動き方の細かな違いがより理解出来ました。

PLC制御では、業務で馴染みのある包装機モデルを使用した実習で普段は見ることが無い内部の動作原理を勉強し、サイクル動作の奥深さを知ることが出来ました。

今後は講座で学んだ知識を、トラブル対応やメンテナンスで活かせる様に努力したいと思います。

ご指導下さった講師の皆様、包装学校事務局の皆様、講座の中で共に学んだ受講生の皆様に深く感謝いたします。ありがとうございました。

第42期(第28回)修了生

私は、自動包装機の電気設計を行っています。主に、ラダー言語を使用しているのですが、他言語を学習し、今後の電気設計に活かしたいと思い今回の講義を受講することになりました。

Visual Basic講座、C言語講座、PLC講座の3講座を受講しました。ラダー言語以外のプログラムを扱ったことがない為、大変不安でした。しかし、各講師の方が丁寧に基礎から指導して頂くことで楽しく行うことが出来ました。実際にトレーニングキットにて作成したプログラムの動作確認をすることで、より理解が深まりました。また、他の受講生のプログラム作成方法、考え方の違いを見ることで、答えにたどり着く回路をいかにシンプルにわかりやすく作成する大切さも学びました。

今後の業務では、講座で学んだ知識を活かし、新しいことに挑戦していきたいです。

最後にご指導くださった講師の方々、包装学校事務局の方々、講義で共に学んだ受講生の皆様、そして受講させて下さった会社に深く感謝いたします。有難うございました。

第43期(第29回)修了生

普段の業務では開発中・開発後の機械の能力を測定する業務が主です。今回は制御設計に携われるようにと会社の方からマイクロコンピュータ制御技術専門課程を受講する機会を頂きVisual Basic講座、C言語講座、PLC制御講座の3講座受講しました。

3講座でそれぞれ配られたテキスト・資料が丁寧であり、各講師がとても分かりやすく指導してくださいました。分からない部分は分かるまで根気よく質疑応答してくださりプログラムの基礎を理解することが出来ました。また、少人数での講義であったため各々のプログラムを紹介しあう時間もあり、1つの制御に対して様々なアプローチの仕方があることも知ることができプログラムを組む楽しさを体感しました。制御のことが全く分からなかった私にも3講座修了することが出来き、さらに終了後もより知識を深めプログラムを組みたいという思いになりました。業務で活かすことができるよう邁進致します。

ご指導していただいた講師の皆さま、包装学校事務局の皆さま、共に講義を受講した皆さまに深く感謝いたします。有難うございました。

第44期(第30回)修了生

私は、日常業務において主にラダー言語を用いたプログラミングに従事しています。

第45期(第31回)修了生

会社よりマイクロコンピュータ制御技術専門過程を受講する機会をいただき、普段は触れることの無いC言語やVisual Basicといった他言語の修得や初心に戻って学び直すことで自身の知見を広げる良い機会ではないかと考え、全3講座を受講させていただきました。

各講座においてテキストも分かりやすく、講師の方々も懇切丁寧に基礎から教えていただいたことで非常に理解が深まりました。また、実機やトレーニングキットを用いた演習問題も多く、自分で作ったプログラムの動作確認がすぐに出来たことも理解する手助けになったと思います。課題毎に各々が作成したプログラムを紹介する機会があり、人によって内容が三者三様で自分に無い発想がたくさんあり非常に興味深かったです。

全3講座を受講して、他言語の修得が出来たことや新たな発見があったことで自身の知見が広がったと思います。貴重な経験をさせていただきました。

最後にご指導いただいた講師の方々、包装学校事務局の皆様、共に講義を受講した皆様に深く感謝いたします。ありがとうございました。

普段の業務では機械設計を担当しており、マイクロコンピュータ制御の知識はほとんどありませんでした。近年のトレンドからプログラミングの必要性を感じ、独学にて学んでおりましたところ、業務での活用場面も増えてきましたので、技術習得の加速と活用場面の拡大を目的として参加させていただきました。

第46期(第32回)修了生

Visual Basic講座、C言語講座、PLCメカトロ制御講座の全てを受講いたしましたが、「教育速度」と「実習」が特に良かったと感じました。「教育速度」ですが、最初は畑違いの私がついていけるか不安でしたが、どの講座も個人のレベルに合わせて教育していただけたため、容易に理解することができました。「実習」ですが、実機を用いての講座が多く、独学ではコストがかかり習得しにくい部分を習得できました。

すぐに業務に活用できる内容でしたので、早速業務で活用させていただいております。

最後にご指導していただいた講師の皆様、包装学校事務局の皆様、講義の中で共に学んだ皆様に深く感謝いたします。ありがとうございました。

私は包装機の組立・配線・改造等のハードウェア中心の業務に従事し、プログラム等のソフトウェア系に関しては別部門が担当していましたが、今回、会社よりPLCメカトロ制御講座を受講し、ソフトウェアについての知識を深める機会をいただきました。

第47期(第33回)修了生

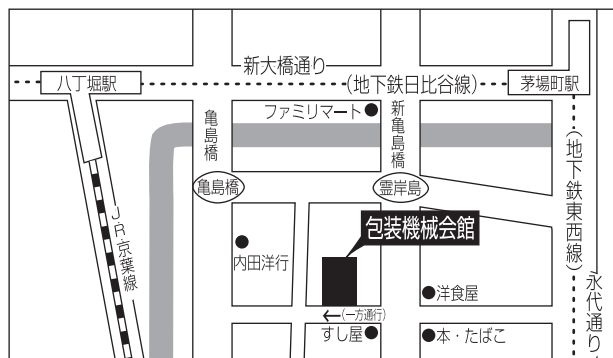
講座が始まるまで不安でいっぱいでしたが、基礎から書かれたテキストと講師の方々の丁寧な指導、さらに解らない部分も質疑応答にて根気よく教えて下さり、実習機での動作確認で望む動きを理解・体感することができました。

また他の受講生が考えたプログラムにも触れる機会があり、それぞれの発想・着眼点にたいへん興味深いものが有りました。

今後は講座で学んだ知識や技術を業務で活用できるように努力したいと思います。

ご指導いただいた講師の皆様、包装学校事務局の皆様、講義を共に受講した皆様に深く感謝いたします。ありがとうございました。

東京会場・マイクロコンピュータ課程会場・オリエンテーション会場・修了式会場



包装機械会館

東京都中央区新川2-5-6 〒104-0033

TEL 03-6222-2279

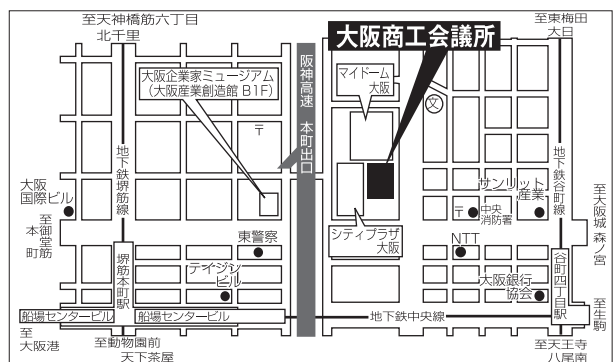
FAX 03-6222-2280

地下鉄日比谷線・茅場町駅・八丁堀駅より徒歩5分

地下鉄東西線・茅場町駅より徒歩5分

JR京葉線・八丁堀駅より徒歩5分

大阪会場・オリエンテーション会場・修了式会場



大阪商工会議所

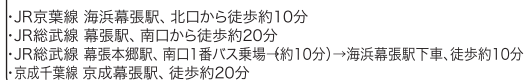
大阪市中央区本町橋2-8 〒540-0029

TEL 06-6944-6268

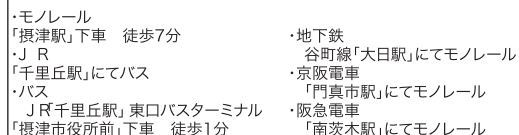
FAX 06-6944-6527

地下鉄堺筋線・堺筋本町駅より徒歩8分

地下鉄谷町線・谷町4丁目駅より徒歩8分



FAX 043-296-2780



FAX 06-6383-0961

包装学校を受講すると国から助成金が受けられます

●キャリア形成促進助成金の中の訓練等支援給付金が対象となりますのでご利用下さい。
ただし、次のいずれにも該当する事業主であって、あらかじめ、各都道府県労働局の
受給資格認定を受けていることが必要です。

1. 雇用保険適用事業所の事業主であること
2. 支給のための審査に協力する事業主であること
(審査に必要な書類などを整備・保管する、管轄の労働局から書類などの提出を求められたら応じる、管轄の労働局の実施調査を受け入れるなど)
3. 支給申請期間内に申請を行う事業主であること
4. 労働組合などの意見を聴いて事業内職業能力開発計画およびこれに基づく年間職業能力開発計画を作成し、その計画の内容を労働者に周知していること
5. 職業能力開発推進者を選任していること
6. 従業員に職業訓練などを受けさせる期間中も、所定労働時間労働した場合に支払う通常の賃金の額を支払っていること
7. 中小企業事業主であること(1部中小企業以外を含む)
[東日本大震災復興対策としての特例措置を利用する事業主(被災地に限る)は大企業も対象]
8. 訓練実施計画届の提出日の前日から起算して6か月前の日から支給申請日までの間に、雇用する雇用保険被保険者を事業主都合により解雇等(退職勧奨を含む)をしたことがない事業主であること
9. 政策課題対応型訓練のうち、①若年人材育成コース
②成長分野等人材育成コース ③グローバル人材育成コース ④熟練技能育成・承継コースにおける助成対象訓練を実施する場合、それぞれのコースごとの訓練実施計画書を作成していること

◎ 訓練等支援給付金

《支給内容》

①若年人材育成コース

採用後5年以内かつ35歳未満の若年労働者への訓練
経費助成 訓練に要した経費の既定の割合
(中小企業以外は割合が変わります)
賃金助成 受講者1人1時間当たり既定の相当金額
(中小企業以外は割合が変わります)

②一般型訓練(中小企業のみ)

政策課題対応型訓練以外の訓練
経費助成 訓練に要した経費の既定の割合
(中小企業以外は割合が変わります)
賃金助成 受講者1人1時間当たり既定の相当金額
(中小企業以外は割合が変わります)

※都道府県によって申請方法が異なります。

必ず以下へご確認をお願いいたします。

■問合せ先：各都道府県労働局

または下記ホームページ

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/kyufukin/d01-1.html

改行を入れずに英小文字で入力または



■個人情報について

本校に提出の入学願書に記載された個人情報の取扱は、本校研修の実地、運営等に関する範囲内に限って利用を行い、その他の目的には利用いたしません。

なお、修了者名、資格試験合格者名、勤務先名は包装機械情報メール「P&M 通信」に掲載いたします。

登録はこちらから、<https://www.jpmma.or.jp> 又は、



●包装学校長

大森機械工業(株) 代表取締役社長 大森利夫

●包装学校企画運営委員

企画運営委員長 大森機械工業(株) 取締役管理本部長 一岡幹朗

副企画運営委員長 大和製衡(株) 取締役管理本部長兼企画本部長 岡村剛敏

企画運営委員 イーデーエム(株) 技術本部 開発部
ゼネラルマネージャ 山口礼司

// C K D(株) 自動機械事業本部
PP事業統括部 技術部 中島智

// ㈱東京自動機械製作所 MG営業部
事業推進課 次長 渡辺広志

// ㈱古川製作所 総務部 副部長 山村憲司

企画運営委員顧問 城南自動機(株) 代表取締役会長 古城美武

企画運営委員アドバイザー イーデーエム(株) 代表取締役社長 安達拓洋

事務局 一般社団法人日本包装機械工業会 専務理事 金澤信

// 技術部 部長 畑野真人

// 総務部 次長 長谷雄仁

// 技術部 参事 鈴木由太加

一般社団法人
日本包装機械工業会

〒104-0033 東京都中央区新川2-5-6 包装機械会館
電話：(03)6222-2279
ファクシ：(03)6222-2280
URL：<https://www.jpmma.or.jp/>

包装学校事務局
担当・問い合わせ：技術部
鈴木 由太加、畑野 真人
総務部 長谷雄 仁